

(3) 調査員のコメント

(資料提供:目黒信用金庫)

【製造業】

- (1) 代表者が高齢で後継者も無く、廃業を検討している。
(プラスチック板金 1名)
- (2) 前期比で売上減少傾向だが、改善できるよう支援していきたい。
(貴金属加工 3名)
- (3) 材料費の上昇により価格を上げざるを得ない状況。現状維持に努める。
(ダンボール製造 4名)
- (4) 材料価格高騰の影響が多少ある様子。
(車輛用電気部品加工 4名 パート3名)
- (5) 資金需要の相談があれば積極的に支援していく方針。
(電気計器 2名)
- (6) 原材料価格の上昇で販売価格も上げたことで売上高は増加したが、利益は変わらない。
(省力機械製作 5名)
- (7) 同業他社の廃業で顧客が増加し、売上増加している。
(ライニング製造 20名)
- (8) 原材料価格の上昇が激しく、難しい経営状況が続いている。
(トランス製造 15名)
- (9) 特に大きな変化はなく、既存取引先との取引で業況は横ばい。
(電球製造 1名)
- (10) コロナ禍の影響でイベント等が中止になり売上に大きな影響が出ている。
(トランク製造 1名 パート1名)
- (11) 受注を利益確保ができるものに絞っている。
(工業用ヒーター製造 17名 パート3名)
- (12) 経費削減により利益の確保を目指す。
(合成樹脂 3名)
- (13) 前期比で売上はさほど変わらず。業況を注視していきたい。
(計測器部品製造 1名)
- (14) 業況をしっかり注視していきたい。
(ソレノイド等電子部品製造 8名)
- (15) コロナ禍により多少の落ち込みはあったが、現状を維持していきたい様子。
(ろ過器製造 3名)
- (16) 親族経営であり、月毎の変動はあるが通年では大きく変わることはない。
(螺子製造 3名)
- (17) 春先は業況が厳しく社長自ら営業活動を行っていた。業況が良ければ設備投資をしたいが、現状では厳しい。
(紙器、パッキング抜型製造 4名)
- (18) 原材料価格高騰の影響は受けているが、徐々に回復している。今後も支援していきたい。
(抜型製造 4名)
- (19) 資金需要に応じて借入の提案をしていきたい。
(通信機器製造 9名)
- (20) コロナ禍と経済情勢が日々変化する中で適切な支援をしていきたい。
(製餡業 20名)
- (21) 受注量は変わらずも原材料の調達難で仕入価格が上昇し、利幅が減少している。
(計測器製造 9名)
- (22) 資金需要発生の際には随時対応していく。
(通信機部品製造 4名)
- (23) 資金需要時に対応できるよう、毎月の訪問で業況を把握していく。
(船舶部品製造 3名)
- (24) 地元固定客が売上の大半を占め売上安定。設備投資の動きもない。
(印刷業 3名)
- (25) プラスチックの原料価格が上昇しており、今後の収益への影響を注視していく。
(合成樹脂加工 6名)
- (26) 受注増加も人手不足で思うように売上増加せず。
(通信機部品製造 8名 パート7名)

- (27) 仕入費用が増加している。
(金型製造 3名)
- (28) 原材料価格の高騰で販売価格を上げ、売上減少。利幅を減らして価格を維持せざるを得ない状況。
(豆腐の製造販売 2名)

【卸売業】

- (1) サイバー攻撃には今後専門業者が対策予定。木材の高騰により、厳しい状況は変わらず。
(木材卸売販売 2名)
- (2) 木材価格は高騰しているが、売上は安定している。
(材木販売・卸 3名)
- (3) 原材料の高騰・供給不足により、受注はあるが売上に反映できない様子。
(プラスチック材料卸 1名 パート1名)
- (4) スーパー等のレジ袋の有料化により一般客のレジ袋購入が増えた様子。
(包装資材卸売及び小売 0名 パート1名)
- (5) 景気低迷により売上減少傾向にあり、厳しい業況が続いている。
(ダンボールパッケージング 5名)
- (6) ウクライナ情勢の影響による原材料高騰のため、仕入価格が上昇し原価率も上がっている。
(包装用品販売 2名)

【小売業】

- (1) 6月末を目途に廃業予定。
(コンビニエンスストア 3名)
- (2) 仕入価格が上がり、売値も若干上がっている。業種的にさほど影響ないが、今後は悪影響がありそう。
(コンビニエンスストア 17名 パート40名)
- (3) 中元商品の受注が始まった様子。
(茶・海苔小売 3名)
- (4) 地元固定客により売上は安定。
(生花・園芸用品販売 4名)
- (5) 値上げが続いており、先行きが不安。
(たばこ販売 1名)

- (6) コロナ禍による在宅率の上昇で売上は増加したが、事業的に変えていく事はない様子。
(パン製造販売 4名)
- (7) 今後も定期的な訪問により業況を確認し、支援を行っていく。
(米穀小売 3名)
- (8) 資金需要発生時にはすぐ対応する。
(建築金物販売 4名)
- (9) 輸入部品が全く入荷されず、売上にならないものもあり業況は非常に厳しい。
(機械工具販売 2名)

【サービス業】

- (1) コロナ禍の影響で売上が停滞している。
(美容院 11名 パート2名)
- (2) 売上は安定している。
(自動車整備・販売 6名)
- (3) 地元の固定客がメインであり、売上は安定している。
(美容 1名)
- (4) コロナ禍の影響により一部サービスを中止しており、売上停滞している。
(理容業 2名)
- (5) 人通りが増え来店も戻りつつあるが、戦争・円安・物価高の影響が不安。
(理容業 2名 パート1名)
- (6) 固定客は確保しているが、若い世代の来店を望んでいる様子。
(理容業 3名)
- (7) 同業者の取組等の情報を提供していきたい。
(理容業 2名)
- (8) 定期的な訪問により業況を把握し支援していく。
(理容業 1名)

【建設業】

- (1) 受注は安定しており、以前より利益が出ようになっている。
(建設業 1名)
- (2) 後継者不在で、受注も町内の特定先のみ受けている。
(建築工事 1名)

- (3) 前期比で売上微増も材料仕入価格の上昇もあり、収益的にはさほど変わりなく、資金繰りも安定。
(総合建設業 35名)
- (4) インターネット広告の宣伝効果もあり、売上増加傾向。
(塗装業 2名)
- (5) 継続的に業況聞き取りしている。
(総合建設 3名)
- (6) 家族経営のため、幅広い受注に対し柔軟に対応できている。
(土木 5名)
- (7) 建築部門を分社化し、不動産賃貸業に転換する。
(総合建設 7名)
- (8) メイン取引先の業況が悪く、売上回復せず。原材料の高騰もあり減益。
(塗装 8名)
- (9) 材料費の高騰の影響が大きい。
(建築 2名)
- (10) 今後も訪問を継続して業況を把握する。
(建設 4名 パート1名)

【不動産業】

- (1) 管理部門の売上は横ばい、仲介部門はあまり良くない。コロナ禍の長期化による需要減は感じる。
(不動産仲介 5名 パート2名)